

郷中だより



令和3年11月19日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第21号

朝夕の寒さが徐々に厳しくなってきましたが、保護者の皆様、地域の皆様、お変わりございませんか。校門の楷の木がとても美しい紅葉を見せてくれています。今年の美しさは格別です。ぜひご覧ください。



ある日のこと

朝の会の途中で登校してきた3年生の生徒に廊下で会ったので、理由を聞いてみると、「登校中に溝にはまって動けなくなっていた猫を発見したので、遅刻を覚悟で猫を溝から引き上げ、草むらに運んだ。」とのことでした。彼の気持ちの中で一瞬、「遅刻をしたくない。でも猫も助けたい。」という葛藤があったと思いますが、結果的に猫を放っておけない気持ちが勝り、溝から救出したのです。教室に入り遅刻の理由を担当の先生に説明する彼にクラスメイトから拍手が沸き、温かい空気が広がりました。

私たちは毎日、大小さまざまな選択をしながら生活をしています。その小さな選択の積み重ねが、今の自分を作っています。どんな自分になりたいかを想像し、そのために何を選択するかという意識をもって生活すると、有意義な時間の使い方につながると思います。

17日は1, 2年生の学力定着状況確認テストがありました。このテストに備え、国語と数学の授業や家庭学習で対策をしてきました。数学のテストを終えたあと、1年生のある生徒が「今回はよくできた！これだけできたら、勉強楽しいな！」と満面の笑顔で言っていたことを数学の先生から聞きました。「がんばったら、できた！」という成功体験の積み重ねが自信になり、次も頑張ろうとするエネルギーになります。部活動や習い事でも同じような体験をしている人がいると思いますが、できないことや苦手なことはコツをつかむまでに時間がかかりますが、少しずつ丁寧に練習を重ねていくうちに「好き」に転じることもあります。ぜひ今日から、勉強に限らず「がんばったら、できた！」を増やしていきましょう。そして、そのような体験ができればぜひおしえてください。楽しみにしています。

学校公開

11月10日(水)～13日(土)までの学校公開では、授業や合唱練習の様子、委員会や部活動などの展示作品をご覧ください、ありがとうございました。また、友愛セールにもたくさんの方々から物品提供から準備、購入など様々な形でご支援とご協力をいただきましたことに心から感謝いたします。ありがとうございました。



(裏面に続く)

合唱コンクール

11月10日の午後に合唱コンクールを行いました。今年度は、感染症対策のため、音楽の授業でタブレットを用いて個人練習を行い、体育館でのリハーサルまでは数回、クラスで合唱した程度でした。今までのようにクラスで何度も声を合わせたり調整したりすることはできませんでしたが、どのクラスも美しいハーモニーでした。審査の結果は次のとおりでした。

最優秀賞 3年 A組

優秀賞 3年 B組、2年 A組

指揮者賞 3年 松上さん、2年 井上さん

合唱以外にも、3年生の木村裕清さんのピアノ演奏と吹奏楽部のステージがあり、充実した午後でした。



2年生の人権学習

郷内地域で発達障がいの理解を深めるために勉強会をされている「たんぽぽ団」の代表でいらっしゃる田邊さんをお招きして、2年生の人権学習を行いました。2年生は、共生社会の実現に向けて「障がいのある人」に関する学習を通して、自分たちに何ができるか、地域でできることはないか、という視点で田邊さんのお話を聴かせていただきました。



【生徒の感想から】

こんな機会はないかなと思ったので、すごくうれしかったです。自分もたんぽぽ団に行つて、いろいろな年代の人とおしゃべりしてみたいし、もっと障がいについても知りたいと思いました。手話の勉強もしたいし、どこかで障がいのある人が困っていたら、どんなことで助けることができるのかももっと知りたいです。地域で活動しているたんぽぽ団のことが知ることができて本当にうれしかったです。

今日のお話を聴いて、発達障がいの人に限らず、光に対する刺激の受け方や物の感じ方は違うんだなと思った。たんぽぽ団は、障がいがあってもなくてもたくさんの子どもたちが笑顔で生活できるような活動をされていることがわかった。郷内は地域のつながりが強いので、そのつながりをなくさないようにしたいと思った。どのようにしていくかが大切だと感じた。

私の班は発達障がいについて調べていたので、田邊さんが読んでくださったのだと知つてうれしかったです。発達障がいは見た目ではわからないけど、その子の気持ちに寄り添って話を聴いてあげることが大事だということを知りました。急に教室から飛び出したとしても、理由がわかると、過ごしやすくなるように手伝ってあげることができるかもしれないと思いました。また、地域の方や学校の先生たちは、私たちのことをすごくたくさん見ていてくれるんだなということ最後に聴いて、ありがたいな～、うれしいな、と思いました。

私は障がいとかは関係なくその人と友達になりたいなと思うことがよくあります。私も吃音症をもっていますが、まず知ってもらうことが一番だと思います。保育園の頃はいじめられたりしましたが、小学校、中学校では、私のことをよくわかってくれる友達がたくさんいるから大丈夫です。よく「落ち着いて！」と言われるんですけど、自分では落ち着いているんです。相手に悪気はなくても、障がいをもっている人にとっては、とても傷つく言葉がたくさんあります。たとえ傷つく言葉を言われたとしても、私は相手が心配して言ってくれているんだなとわかれば素直に受け止めることができます。障がいは世の中にたくさんあると思います。一つ一つ向き合つて、もっと知っていけたらいいなと思っています。